



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月4日
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
コード番号 4543 URL <https://www.terumo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 畑 謙一 TEL 03-6742-8550
四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	448,628	△4.6	75,272	△12.7	74,928	△12.4	58,502	△12.4	58,601	△12.4	36,077	△36.4
2020年3月期第3四半期	470,144	6.0	86,250	9.9	85,487	14.0	66,762	18.4	66,893	18.4	56,763	△25.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	77.63	77.44
2020年3月期第3四半期	89.64	88.40

(参考) 調整後営業利益 2021年3月期第3四半期 88,489百万円 2020年3月期第3四半期 98,419百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,257,797	776,386	776,416	61.7
2020年3月期	1,241,355	754,883	754,813	60.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	△4.6	115,000	△8.0	97,500	△11.9	75,000	△12.0	99.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想については、本日（2021年2月4日）公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

当社が発行した転換社債型新株予約権付社債について、2020年12月31日までに一部権利行使による株式への転換が行われました。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」については、この影響を考慮して計算しております。

・通期想定レート：1ドル=106円、1ユーロ=123円（第4四半期想定レート：1ドル=104円、1ユーロ=126円）

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	759,521,040株	2020年3月期	759,521,040株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,800,726株	2020年3月期	7,236,929株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	754,856,119株	2020年3月期3Q	746,226,356株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日、以下「当第3四半期」）における医療市場では、特に4、5月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の大きな影響を受け、様々な診療科において待機症例の延期、検査や診断の減少、入院日数の減少等による需要減がありました。7～9月には、延期されていた症例の一部が行われたことで、需要が一定程度回復しました。10～12月には、特に欧州・米州において新型コロナウイルス感染症の再拡大が見られましたが、医療機関のオペレーションへの影響は限定的でした。当社においては、心臓血管カンパニーに対して需要減の影響が顕在化したものの、ホスピタルカンパニーや血液・細胞テクノロジーカンパニーに対する影響が比較的軽微となったことに加え、一部製品における需要増もあり、全社として新型コロナウイルス感染症拡大の影響を一定程度緩和できた結果となりました。

当第3四半期の業績は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
売上収益	470,144	448,628	△4.6	△3.3
売上総利益	258,635	241,268	△6.7	△4.9
調整後営業利益	98,419	88,489	△10.1	△7.6
営業利益	86,250	75,272	△12.7	△10.2
税引前四半期利益	85,487	74,928	△12.4	—
四半期利益	66,762	58,502	△12.4	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	66,893	58,601	△12.4	—

当第3四半期の地域別売上収益は以下のとおりです。

（単位：百万円）

地域	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	147,842	148,349	0.3	0.3
欧州	88,738	87,547	△1.3	△2.1
米州	141,561	131,132	△7.4	△3.7
アジア他	92,002	81,598	△11.3	△9.6
海外計	322,302	300,279	△6.8	△5.0
合計	470,144	448,628	△4.6	△3.3

<売上収益>

売上収益は、前年同期比4.6%減の4,486億円となりました。

日本では、心臓血管カンパニーにおいて新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、他地域と比較し小さかったことに加え、ホスピタルカンパニーにおいて感染対策製品に対する需要増、アライアンス事業や麻酔用鎮痛剤の好調もあり、前年同期比0.3%の増収となりました。

海外では、ホスピタルカンパニーと血液・細胞テクノロジーカンパニーに対する新型コロナウイルス感染症拡大の影響は小さかったものの、心臓血管カンパニー、特にTIS（カテーテル）事業に対する同影響が大きく、前年同期比6.8%の減収となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、心臓血管カンパニーを中心に新型コロナウイルス感染症拡大の影響による売上収益の減少があり、前年同期比6.7%減の2,413億円となりました。

<調整後営業利益>

調整後営業利益は、販売費及び一般管理費を一部抑制したものの、売上総利益の減少により、前年同期比10.1%減の885億円となりました。

なお、調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。また、調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いています。

<営業利益>

営業利益は、調整後営業利益の減少により、前年同期比12.7%減の753億円となりました。

<税引前四半期利益>

税引前四半期利益は、営業利益の減少により、前年同期比12.4%減の749億円となりました。

<親会社の所有者に帰属する四半期利益>

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前四半期利益の減少により、前年同期比12.4%減の586億円となりました。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

なお、前連結会計年度より、従来の「血液システムカンパニー」のセグメント名称を「血液・細胞テクノロジーカンパニー」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第3四半期連結累計期間につきましても、変更後の名称で記載しております。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上収益	263,473	238,405	△9.5	△8.3
	(日本)	38,178	36,608	△4.1	△4.1
	(海外)	225,294	201,796	△10.4	△9.0
ホスピタルカンパニー	売上収益	127,786	129,023	1.0	1.5
	(日本)	100,474	102,594	2.1	2.1
	(海外)	27,311	26,429	△3.2	△0.8
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	78,717	81,007	2.9	5.7
	(日本)	9,022	8,954	△0.7	△0.7
	(海外)	69,695	72,053	3.4	6.5

<心臓血管カンパニー>

日本では、カーディオバスキュラー事業の補助循環装置（ECMOシステム）や、ニューロバスキュラー事業の血流改変ステント等が牽引したものの、他の事業における新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、減収となりました。海外では、米州においてTIS（カテーテル）事業への同影響が大きく、また中国において、ニューロバスキュラー事業で代理店の受注タイミングの影響を受けたことで、心臓血管カンパニーの売上収益は前年同期比9.5%減の2,384億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

日本では、多くの製品において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、ホスピタルシステム事業の感染対策関連製品や麻酔用鎮痛剤が牽引したことに加え、グローバルでアライアンス事業の製薬企業との提携ビジネスが拡大したことにより、ホスピタルカンパニーの売上収益は前年同期比1.0%増の1,290億円となりました。

<血液・細胞テクノロジーカンパニー>

日本では、血液センター向け製品において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による血液需要の減少を受け、わずかに減収となりました。海外では、アフレスシス治療製品と細胞処理製品において、同影響による需要減が見られましたが、新型コロナウイルス感染症の回復期血漿の需要が増加、また成分採血装置の新ソフトウェアが牽引した結果、血液・細胞テクノロジーカンパニーの売上収益は前年同期比2.9%増の810億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、164億円増加して12,578億円となりました。これは主に、生産設備等への投資により有形固定資産が145億円増加したことによるものです。

負債合計は、51億円減少して4,814億円となりました。これは主に、社債の償還や一部転換が行われたものの長期借入金の借入れにより社債及び借入金が90億円増加した一方で、設備関係の支払等により営業債務及びその他の債務が187億円減少したことによるものです。

資本合計は、215億円増加して7,764億円となりました。これは主に、四半期利益の計上により585億円増加、転換社債型新株予約権付社債の転換に自己株式を充当したこと等により64億円増加した一方で、剰余金の配当により211億円減少、為替相場が円高に推移した影響等に伴うその他の包括利益の計上により224億円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

現時点では不透明な新型コロナウイルス感染症の再拡大の動向、またその影響による需要減やサプライチェーンの断絶等のリスクについては、引き続き注視していく必要がありますが、当社グループは目標の達成に向けて、医療の質と効率の向上に貢献する高付加価値製品の導入及び拡大、さらなる原価改善、販管費の効率的な運用等に注力してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	166,898	169,760
営業債権及びその他の債権	131,728	128,911
その他の金融資産	397	53
棚卸資産	147,147	169,697
未収法人所得税等	1,745	203
その他の流動資産	12,689	13,842
流動資産合計	460,607	482,470
非流動資産		
有形固定資産	264,407	278,947
のれん及び無形資産	461,506	443,923
持分法で会計処理されている投資	5,275	3,664
その他の金融資産	17,733	18,434
繰延税金資産	27,307	26,296
その他の非流動資産	4,517	4,062
非流動資産合計	780,748	775,327
資産合計	1,241,355	1,257,797

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	88,044	69,374
社債及び借入金	50,324	11,728
その他の金融負債	6,144	7,806
未払法人所得税等	11,681	8,630
引当金	395	319
その他の流動負債	55,256	58,245
流動負債合計	211,845	156,105
非流動負債		
社債及び借入金	195,870	243,505
その他の金融負債	31,802	37,080
繰延税金負債	20,360	17,331
退職給付に係る負債	18,456	17,579
引当金	92	89
その他の非流動負債	8,043	9,719
非流動負債合計	274,626	325,305
負債合計	486,472	481,411
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,858	51,779
自己株式	△14,103	△7,408
利益剰余金	705,765	744,756
その他の資本の構成要素	△27,423	△51,428
親会社の所有者に帰属する持分合計	754,813	776,416
非支配持分	69	△29
資本合計	754,883	776,386
負債及び資本合計	1,241,355	1,257,797

（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上収益	470,144	448,628
売上原価	211,509	207,360
売上総利益	258,635	241,268
販売費及び一般管理費	173,844	166,546
その他の収益	3,593	2,309
その他の費用	2,134	1,758
営業利益	86,250	75,272
金融収益	1,424	1,745
金融費用	2,091	1,421
持分法による投資損益（△は損失）	△96	△668
税引前四半期利益	85,487	74,928
法人所得税費用	18,725	16,426
四半期利益	66,762	58,502
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	66,893	58,601
非支配持分	△131	△98
四半期利益	66,762	58,502
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	89.64	77.63
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	88.40	77.44

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	66,762	58,502
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	407	1,172
確定給付制度の再測定	△467	139
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△60	1,311
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△10,163	△24,377
キャッシュ・フロー・ヘッジ	212	143
ヘッジコスト	11	497
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△9,939	△23,736
その他の包括利益	△9,999	△22,424
四半期包括利益	56,763	36,077
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	56,887	36,176
非支配持分	△124	△99
四半期包括利益	56,763	36,077

(注) 上記の計算書の項目は、税引後で開示しております。

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2019年4月1日時点の残高	38,716	52,029	△32,381	646,223	△6,553	698,034	78	698,113
四半期利益	-	-	-	66,893	-	66,893	△131	66,762
その他の包括利益	-	-	-	-	△10,006	△10,006	6	△9,999
四半期包括利益合計	-	-	-	66,893	△10,006	56,887	△124	56,763
自己株式の取得	-	-	△2	-	-	△2	-	△2
自己株式の処分	-	-	80	△18	△61	0	-	0
剰余金の配当	-	-	-	△20,507	-	△20,507	-	△20,507
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	-	-	-	△467	467	-	-	-
子会社の増資に伴う持分の変動	-	-	-	-	-	-	159	159
株式報酬取引	-	△101	120	82	31	132	-	132
転換社債型新株予約権付社債 の転換	-	△115	17,250	△260	-	16,874	-	16,874
所有者との取引額合計	-	△217	17,448	△21,170	437	△3,502	159	△3,342
2019年12月31日時点の残高	38,716	51,812	△14,933	691,947	△16,122	751,419	113	751,533

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2020年4月1日時点の残高	38,716	51,858	△14,103	705,765	△27,423	754,813	69	754,883
四半期利益	-	-	-	58,601	-	58,601	△98	58,502
その他の包括利益	-	-	-	-	△22,424	△22,424	△0	△22,424
四半期包括利益合計	-	-	-	58,601	△22,424	36,176	△99	36,077
自己株式の取得	-	-	△2	-	-	△2	-	△2
自己株式の処分	-	-	96	△14	△82	0	-	0
剰余金の配当	-	-	-	△21,109	-	△21,109	-	△21,109
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	-	-	-	1,532	△1,532	-	-	-
株式報酬取引	-	△49	99	102	35	187	-	187
転換社債型新株予約権付社債 の転換	-	△29	6,501	△121	-	6,350	-	6,350
所有者との取引額合計	-	△79	6,694	△19,610	△1,580	△14,574	-	△14,574
2020年12月31日時点の残高	38,716	51,779	△7,408	744,756	△51,428	776,416	△29	776,386

- （4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制を基礎とした製品群別のセグメントから構成された「心臓血管カンパニー」、「ホスピタルカンパニー」及び「血液・細胞テクノロジーカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

前連結会計年度より、従来の「血液システムカンパニー」のセグメント名称を「血液・細胞テクノロジーカンパニー」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第3四半期連結累計期間につきましても、変更後の名称で記載しております。

（2）報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	263,473	127,786	78,717	469,976	168	470,144
セグメント利益 (調整後営業利益)	68,753	19,819	10,424	98,997	△578	98,419
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△5,273	—	△6,153	△11,426	△440	△11,867
一時的な損益(注) 2						△300
営業利益						86,250
金融収益						1,424
金融費用						△2,091
持分法による投資損益						△96
税引前四半期利益						85,487

（注）1．調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額168百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
 - 2) セグメント利益の調整額△578百万円には、棚卸資産の調整額31百万円等が含まれております。
- 2．一時的な損益△300百万円には、一昨年度のプエルトリコにおけるハリケーン被害に関する保険金収入1,180百万円、事業再編費用△1,099百万円等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額	
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			合計
売上収益						
外部顧客への売上収益	238,405	129,023	81,007	448,437	191	448,628
セグメント利益 (調整後営業利益) (調整項目)	56,032	20,476	14,438	90,948	△2,458	88,489
買収無形資産の償却費	△5,201	—	△6,009	△11,211	372	△10,838
一時的な損益(注) 2						△2,378
営業利益						75,272
金融収益						1,745
金融費用						△1,421
持分法による投資損益						△668
税引前四半期利益						74,928

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額191百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額△2,458百万円には、棚卸資産の調整額413百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△1,762百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益△2,378百万円には、条件付対価の公正価値変動△1,838百万円、事業再編費用△383百万円等が含まれております。